

山形市議選水増し請求

不当支出額は返還請求

市議会一般
質問で市長 調査委の結果待ち対応

山形市議会は二十七日、本会議を再開して一般質問を行った。石神真(無所属)、尾関律子(公明)、中田静枝(共産)、寺町知正(無所属)の四議員が登壇。中田議員と寺町議員が、二〇〇四(平成十六)年四月の市議選での、公費負担されたポスター代の水増し請求の問題をただし、平野元市長は「弁護士による委員会を立ち上げた。不当な支出があれば、返還すべき方に不当な支出相当額を請求する」と答弁。あらためて水増し分の返還を求める姿勢を示した。一般質問は同日で終了。二十九日に採決を行う。(小西里奈)

【ポスター代水増し】結果を待って対応した中田議員、寺町議員が「い」と説明し、独自に調査を進める意向を示した。

で臨むのが当然」と答弁。警察の取り調べの結論が出ていないのに、本日に調査委員会が機能するのか、との質問に「警察だけに任せきりではなく、委員会でもしかるべき結果を出してもらい、水増し分の返還について(検討を)お願いしたい。その

6.28 山形

不正あれば返還を

市長 政治倫理条例検討も

04年の山形市議選で公費負担されたポスター製作費が水増し請求されていた問題で、同市の平野元市長は27日、市議会定例会で「不適切な行為」と述べ、不正があった場合には返還を求めるとした。一方で、水増し請求しただとされる市議らの身の処し方については「議員の判断」と述べ、言及を避けた。また平野市長は、政治倫理条例の制定について「必要がある」との考えを示した。中田静枝市議(共産)が、市議と印刷業者とのポスター製作の契約額について「厳しくチェックしなかったのではないかと、市の審査体制の甘さを追及した。平野市長は「選管は請求額の高い安いについては、審査する権限はない」と答弁し、

【稲垣衆史】

進退「各議員の判断」

代求
水増し
ポスター
平野
山形市長
倫理条例にも消極的

二〇〇四(平成十六)年四月の山形市議選で、市議ら数人が公費負担されるポスター代を水増し

て、辞職などを求める考えはないことを明らかにした。

この日の一般質問に登壇した四人の市議のうち、二人が同事件について質問。平野市長は、水増しをした市議への対応について、弁護士でつく

る調査委員会の調査結果を受けて水増し分の返還を求め、進退は個々の議員に任せるとした。

また、政治倫理条例を制定するべきとの提案には、

「議員各位の判断」として

「各議員各位の判断」として

「各議員各位の判断」として

「各議員各位の判断」として

「各議員各位の判断」として

「各議員各位の判断」として

「各議員各位の判断」として

「各議員各位の判断」として

「各議員各位の判断」として

山県市長

「市側に遺漏なし」

「判断は調査委に」

公費混同

選挙ポスター代疑惑

市議選のポスター代水増しが発覚した山県市で27日、市議会定例会の一般質問があり、2人が選挙管理委員会の事務手続きなど市側の責任を問うた。しかし、平野元・市長の答弁は「個人のモラルの問題で、市の執行に遺漏はなかった」とする従来の説明と変わらず、今後の調査は28日に設置した弁護士らによる不正請求問題調査委員会に任せられる形となった。

中田静枝氏(共産)は「ポスターの単価に大きな差があったのは明らか。なぜ疑問に思わず、書類を綿密に審査しなかったのか」と市選管の責任を追及した。平野市長は「契約内容は候補者と業者間の問題で、高すぎるのか安すぎるのかという点に審査権限はないことを強調。請求内容が適正だったかは、専門家の調査を待ちたい」と調査委員会に判断をゆだねた。

寺町知正氏(無所属)は、水増しを認めた市議のパンフレットに、平野市長が「推薦者」として名を連ねていたことを指摘し、市長自身の責任について追及した。平野市長は、答弁で「候補者個人のモラルの問題」と繰り返し、言葉を濁した。

閉会后、調査委員会について、中田氏は「本来は議会の中で解決すべきだ。外部に委ねるのは情

けない」。寺町氏は「委員会を設置したのはいいが、問題を丸投げしている印象だ」と、市長を批判した。また寺町氏は、議会として政治倫理条例制定などを積極的に取り上げようとし、他の市議の姿勢を批判した。

一方、市は本会議後、市議選で公費請求した市議20人を集め、調査委員会の概要を説明。今後、委員の弁護士が個別の聞き取りを行うことを伝え

6.28 中田

費問題
ポスター水増し

「調査委の報告待つ」

山県市長「不適切な行為」

選挙ポスター製作費の水増し問題で揺れる山県市議会の定例会本会議は二十七日再開し、平野元(はじめ)市長は一般質問の答弁で「市として調べる権限がない。専門家による(調査)結果を待つて対応したい」と述べ、二十六日設置した不正請求問題調査委員会が七月の中をめぐりまとめる報告結果を待ちたいとの考えを示した。

「進退、議員自身の判断」

ポスター費問題で山県市長

中田静枝氏(共産)と寺町知正氏(無所属)がこの問題で市長の姿勢や責任をたじたが、平野市長は「水増し請求は、してはならない不適切な行為」などと述べるにとどまった。政治倫理条例の制定についても「議員各位の意見をたまわりながら検討したい」とした。

また本会議に先立つ議会運営委員会では、疑惑を認めた市議ら五氏に対する辞職勧告決議案を最

6.28 読者

(横山大輔)